

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年8月10日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年8月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【工具センターのトルクレンチ定期校正における精度逸脱について】 協力企業作業員が、工具センター貸出工具のうちトルクレンチの定期校正を行った際、2台の測定値が基準範囲の精度を逸脱していることを確認。 当該トルクレンチ2台は、10件の貸出実績があり、その内、9件についてはトルク管理を求めないボルト締め付け確認に使用したものであり、基準値逸脱による設備への問題なし。 残り1件の5号機計装用空気圧縮機(B)については、トルク管理を求めていることから、現在、異常は確認されていないが、念のため運転を予備機に切り替え当該圧縮機を停止し、別のトルクレンチにて、締め付け状態を確認する。 今後、精度を逸脱したトルクレンチを精度内に調整し、再使用予定。</p>	G III	8月2日
2	<p>【2号機原子炉格納容器ガス管理設備の希ガス放射線モニタ(B)通信異常の警報発生について】 当社運転員が、2号機原子炉格納容器ガス管理設備の免震重要棟監視装置に、「2号機原子炉格納容器希ガス放射線モニタ(B)通信異常」の警報発生を確認。 現場の希ガス放射線モニタ(B)では、データ指示が確認できており、現場モニタ盤から免震重要棟間の通信不良が発生したと推定。 希ガス放射線モニタ(A)に異常はなく、希ガス放射線モニタ(B)も監視カメラで確認ができることから、監視及びデータ採取に影響なし。 その後、希ガス放射線モニタ(B)の再起動を実施し、監視可能となった。</p>	G III	8月7日